

Ⅲ 令和 8 年度の事業計画と予算

1 令和 8 事業年度予算の概要

兵庫県道路公社は、「安全を最優先し、いつでも安心して快適に利用できる道路サービスの提供により交流を促進し、持続的に成長する元気な地域づくりに貢献すること」を経営理念として、中期経営計画（令和 5 年度～令和 8 年度）に基づき、県内基幹道路八連携軸の一翼を担う播但連絡道路及び遠阪トンネルの 2 路線の計画的な管理運営に取り組む。

(1) 播但連絡道路の管理運営体制等のあり方検討

労務費や資材等の高騰等に対応するため、県と連携し、有識者会議を設置して、料金体系の見直しや償還時期などを含め、今後の管理運営のあり方について検討を進める。

また、建設費の着実な償還を図りながら適切な維持管理を推進するために、予防保全等による維持管理費の縮減や業務の効率化によるコストの縮減にも努める。

(2) 播但連絡道路の橋梁・トンネル大規模修繕の計画的な実施

播但連絡道路では、全体の約 6 割の構造物が 40 年を経過し、経年劣化による損傷が顕在化しており、法定点検結果等を踏まえ必要な対策を早期かつ計画的に推進する。

令和 8 年度は、令和 7 年度までの点検結果を踏まえ、新たに著しい損傷が判明した橋梁及び構造に影響を及ぼす顕著な損傷を有する橋梁等の予防保全を推進するとともに、引き続き 3 巡目の法定点検（R6～R10）を実施する。

(3) 播但連絡道路の緊急輸送道路としての橋梁耐震対策の実施

発災後速やかに緊急輸送道路としての機能を発揮するための橋梁耐震対策について、早期の全線 2 車線（4 車線区間は下り線）の対策完了（対策橋梁数 41 橋）を目指し重点的に取り組む。

(4) 遠阪トンネルの大規模修繕・更新事業の計画的な実施

遠阪トンネルでは、供用後 49 年が経過し、橋梁・トンネル等において構造に影響を及ぼす損傷やそれに付随する設備の老朽化が顕著に現れている。今後も北近畿豊岡自動車道と一体的に利用者の安全確保を図るため、計画的な大規模修繕・更新を推進する。

令和 8 年度はトンネル空洞対策工事、トンネル内防災設備の更新、道路法面对策工事等に取り組む。

(5) 安全・安心・快適な道路環境の維持

24 時間 365 日体制による日常管理、緊急事態を想定した未然の備えに取り組むとともに、安全・安心・快適な走行環境の確保に取り組む。

- ・ 24 時間 365 日体制の道路設備の監視制御や道路パトロール等の交通管理
- ・ 冬季の除雪凍結対策（冬用タイヤ装着指導等を含む）
- ・ 災害・事故など緊急事態を想定した訓練・研修
- ・ 路面性状調査等に基づき、早急に舗装修繕が必要な区間を重点的に整備

(6) サービスエリア・パーキングエリアの充実

快適で賑わいのあるサービスエリア・パーキングエリアとするため、引き続き営業事業者と連携・協力してサービスの向上に努めるとともに、沿線市町等とも連携し、特産品や観光資源等の情報発信の場として活用することにより地域の活性化に取り組む。

また、市川サービスエリアにおいて、兵庫県立大学と連携して更なる魅力向上及び集客促進を図るための活性化策の検討を進める。

(7) 利用促進の取り組み

播但道フォトコンテストを実施し、播但道及び沿線地域等の魅力を発信する広報に活用するほか、播但道が但馬地域と神戸地域間の移動にあたり経済的な経路であることを幅広く広報するなど、引き続き沿線市町とも連携し、地域の活性化と利用促進を図る。

また、遠阪トンネルにおいて、大阪・関西万博後の但馬地域と丹波地域の観光振興の一助として、前年度に引き続き企画割引に取り組むとともに、NEXCO西日本等と連携した周遊ドライブパスを引き続き実施する。

これらの実施にあたり令和 8 事業年度当初予算は、収入 3 4 4 億 6 千 6 百万円、支出 3 4 3 億 4 百万円を計上する。また、債務負担行為限度額は 1 0 0 億 1 千 9 百万円（令和 9 年度 4 5 億 6 百万円、令和 10 年度 3 5 億 1 千 5 百万円、令和 11 年度 1 9 億 9 千 8 百万円）を計上する。

2 事業計画

令和8年度の計画を次のとおりとする。

(1) 収 入

① 道路料金収入

(単位：千円)

管 理 区 間	予 定 収 入	路 線 延 長 (km)
播 但 連 絡 道 路	4,985,696	65.1
遠 阪 ト ン ネ ル	938,320	4.7
計	5,924,016	69.8

② 附帯事業収入

(単位：千円)

事 業 箇 所 名	予 定 収 入	主 な 内 容
市 川 ・ 豊 富 休 憩 所	20,178	レストラン・売店（市川）、コンビニ（豊富南行）、自動販売機（市川、豊富北行、和田山南行）

(2) 支 出

① 維持修繕計画

(単位：千円)

事 業 箇 所 名	予 算 額	主 な 内 容
播 但 連 絡 道 路	2,861,487	大規模修繕に係る橋梁修繕・橋梁耐震化、除草、設備保守点検、雪氷対策、トンネル・橋梁等定期点検、道路舗装修繕、遠方監視制御設備・気象観測予測機器・高圧受変電設備老朽化機器類等更新、トンネル照明LED リース 等
遠 阪 ト ン ネ ル	764,400	路面清掃、除草、道路舗装修繕、道路法面对策、トンネル空洞対策、設備保守点検、雪氷対策、トンネル防災設備更新 等
計	3,625,887	

② 業務委託計画

(単位：千円)

事業箇所名	予算額	主な内容
播但連絡道路	1,323,346	料金収受業務、交通管理業務、清掃業務、料金収受機器・ETC設備等保守点検業務等
遠阪トンネル	94,979	料金収受業務、交通管理業務、料金収受機器・ETC設備等保守点検業務等
市川・豊富休憩所	2,627	清掃業務
計	1,420,952	

3 収入支出予算

(1) 収 入

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	
	令和8年度当初予算	令和7年度当初予算
(款) (項)		
事 業 収 入	5, 9 6 6, 7 1 2	5, 9 6 8, 9 1 0
業 務 収 入	5, 9 4 6, 2 9 2	5, 9 5 2, 4 2 6
(播但連絡道路料金収入)	(4, 9 8 5, 6 9 6)	(4, 9 9 1, 5 1 6)
(遠阪トンネル料金収入)	(9 3 8, 3 2 0)	(9 3 8, 9 0 3)
(休 憩 所 収 入)	(2 0, 1 7 8)	(1 9, 6 1 4)
(業 務 雑 収 入)	(2, 0 9 8)	(2, 3 9 3)
業 務 外 収 入	2 0, 4 2 0	1 6, 4 8 4
資 本 的 収 入	2 8, 5 0 0, 0 0 0	6, 5 0 0, 0 0 0
公 社 債 券	2 8, 5 0 0, 0 0 0	6, 5 0 0, 0 0 0
合 計	3 4, 4 6 6, 7 1 2	1 2, 4 6 8, 9 1 0
対前年度比(%)	2 7 6. 4	8 7. 5

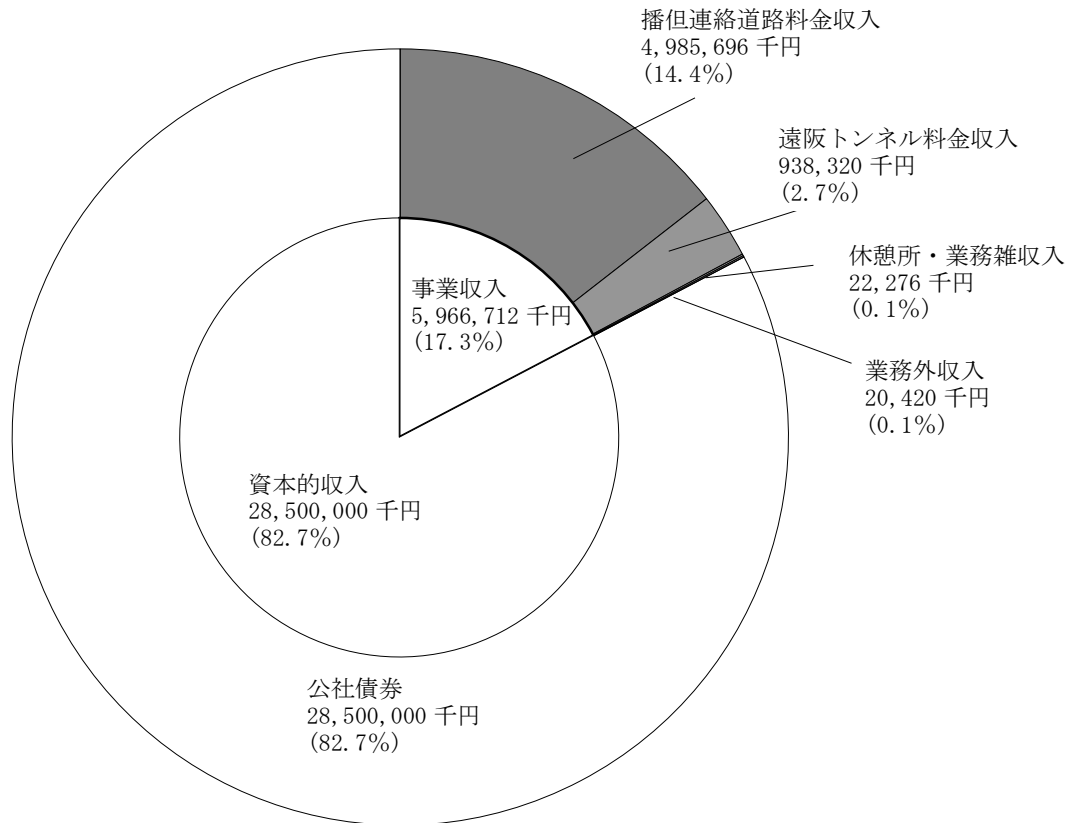
(2) 支 出

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	
	令和8年度当初予算	令和7年度当初予算
(款) (項)		
事 業 費 用	6, 2 1 9, 0 0 8	5, 2 3 4, 9 0 1
業 務 管 理 費	5, 9 1 1, 6 6 2	4, 8 7 0, 8 7 1
(播但連絡道路管理費)	(4, 9 7 4, 0 3 9)	(4, 4 9 9, 8 4 5)
(遠阪トンネル管理費)	(9 1 9, 6 7 0)	(3 5 4, 7 8 8)
(休 憩 所 管 理 費)	(1 7, 9 5 3)	(1 6, 2 3 8)
一 般 管 理 費	1 9 6, 4 0 5	1 9 0, 8 0 4
業 務 外 費 用	1 1 0, 9 4 1	1 7 3, 2 2 6
資 本 的 支 出	2 8, 0 8 4, 1 9 1	6, 4 4 1, 6 4 7
施 設 改 良 費	0	4 9, 5 7 0
償 還 金	2 8, 0 8 4, 1 9 1	6, 3 9 2, 0 7 7
合 計	3 4, 3 0 3, 1 9 9	1 1, 6 7 6, 5 4 8
対前年度比(%)	2 9 3. 8	8 5. 8

令和 8 事業年度収入支出当初予算構成図

(1) 収入



(2) 支出

